

I 概況

1 内政

- 2日、閣僚評議会が開催され2014年経済計画及び同年国家予算案を作成するための方針が分析された。
- フィデル・カストロ前議長は北朝鮮に関する論評を発表した他、ベネズエラ人政治評論家やマラドーナと懇談し、学校の開校式にも出席した。
- 国連理事会における普遍的・定期的レビュー（UPR）の一環として5月1日に同理事会に提出される予定のキューバの人権報告書が公表された。

2 外交

- CELAC 拡大トロイカ外相会合が開催され、次回首脳会合について話し合われたほか、「2013年アクションプラン」が策定された。
- マドゥーロ大統領は当国を公式訪問し、ラウル議長と会談した他、第13回キューバ・ベネズエラ政府間委員会が開催され、51の協力プロジェクトが署名された。
- 「5人の英雄」の一人であるレネ・ゴンサレスが、家族を訪問するためにキューバに一時帰国した。

II 内政

1 閣僚評議会の開催（往電第321号）

2日、閣僚評議会が開催され2014年経済計画及び同年国家予算案を作成するための方針が分析された他、ラウル議長は、（経済モデルの現代化は）良いリズムで進んでおり、我々がもっと早く（現代化のプロセスを）進めるべきだと主張する人々からの圧力には抵抗しなければならない等述べた。また各閣僚及び企業経営上級組織（OSDE）各代表から2014年の指針に盛り込まれた所管事項につき説明がなされた。

2 フィデル・カストロ前国家評議会議長の活動（往電第329号、同第347号及、同第359号及び同第368号）

（1）5日、フィデル前議長は、北朝鮮とオバマ大統領には朝鮮半島における戦争を回避する責任があるとする「朝鮮半島における戦争を回避する責任」と題された論評（4日執筆）を発表した。フィデル前議長が「論評」を公表するのは2012年6月以来。

（2）9日、フィデル前議長とベネズエラ人政治評論家ペレス氏が3月31日ハバナにて4時間以上に亘り懇談した旨報じられ、写真も公表された。

（3）9日、フィデル前議長は自身のイニシアチブにより建設された学校の開校式に出席し、式典出席者と2時間ほど懇談した。

(4) 13日、フィデル前議長は当地訪問中のアルゼンチン人元サッカー選手マラドーナと懇談し、写真も公表された。

3 バイオテクノロジー及び製薬産業（往電第370号）

フェルナンデス BioCubaFarma 第一副総裁は国営テレビの討論番組にて、キューバのバイオテクノロジー及び製薬産業の過去5年間の輸出総額は27億7,900万ドルに達し、また今後5年間で約2倍の50億7,600万ドルの輸出を見込んでいる旨述べた。現在キューバのバイオテクノロジー及び制約関連の50の製品は50か国以上で流通しているとのこと。

4 伯による空港改修工事への融資の可能性（往電第377号）

ムリージョ閣僚評議会副議長がブラジルを訪問した際、ブラジル国立経済社会開発銀行(BNDES)によるキューバの空港を対象とした1億5千万ドルの融資の可能性が議論された旨報じられた。

5 石油事情（往電第388号）

ロシア国営石油公社は、予定よりも早く6月1日でキューバ北部沖合における石油の試掘を終了する旨発表した。

6 UPR 国別人権報告書の公表（往電第402号）

23日、モレノ外務次官は記者会見を行い、国連人権理事会における普遍的・定期的レビュー(UPR)の一環として5月1日に同理事会に提出される予定のキューバの人権報告書を公表した。

III 外交

1 CELAC 拡大トロイカ外相会合の開催（往電第340号）

5日、当地にて CELAC 拡大トロイカ外相会合が開催され、2014年1月の首脳会合について話し合われたほか、社会問題や格差の減少、エネルギー、財政、環境、小規模農業、科学技術、交通及び工業化等に重点が置かれた「2013年アクションプラン」が策定された。また CELAC 拡大トロイカ外相はディアスカネル国家評議会第一副議長と会談した。

2 クンブアンボラ・フィジー外相の当国訪問（往電第341号）

3日～7日、クンブアンボラ・フィジー外相が当国を公式訪問し、ブルーノ・ロドリゲス外相と会談した他、ラテンアメリカ医学学校等を視察した。

3 米国人夫妻の引き渡しに関する外務省声明（往電第348号）

当国外務省は、米国にて児童を誘拐しキューバに逃亡した米国籍のハッケン夫妻を米国に引き渡す用意があると発表するタブラダ外務省北米局次長の声明を発出した。

4 ベネズエラ大統領選（往電第369号及び同第393号）

- （1）14日、マドゥーロ・ベネズエラ大統領の大統領選を祝すラウル議長発祝辞が公表された。
- （2）19日～21日、ラウル議長はベネズエラ大統領就任式に出席するためベネズエラを訪問した。

5 ポストン・テロ事件に関するキューバ外務省声明（往電第376号）

当国外務省は、ポストンで発生した爆弾事件に関し、如何なるテロ行為も非難し、同事件の被害者に深甚なる哀悼の意を表する口上書を当地米利益代表部に発出した旨の声明を発出した。

6 教育に係るキューバ・ベトナムの二国間協力協定の署名（往電第386号）

- 17日、キューバ及びベトナムは両国大学間の交流促進を目的する協定に署名した。

7 墨海軍練習艦のハバナ港寄港（往電第387号）

- 18日、墨海軍練習艦隊が実務訪問のためハバナ港に到着した。

8 ラテンアメリカ・カリブ諸国共同体（CELAC）（往電第382号及び同第392号）

- （1）17日、CELACはポストンで発生したテロ事件を非難するコミュニケを発出した。
- （2）19日、CELACはマドゥーロ・ベネズエラ大統領の大統領選勝利を祝すコミュニケを発出した。

9 水道網修復にかかるキューバ・サウジ二国間協力（往電第405号）

22日、キューバの水道網修復のためにサウジがキューバに対し3,000万ドルの供与を行うための二国間協定が署名された。

10 「5人の英雄」の一人の一時帰国（往電第408号）

「5人の英雄」の一人であるレネ・ゴンサレスが、米国司法当局の許可を得て、家族を訪問するためにキューバに一時帰国した。

11 第5回カリブ諸国連合首脳会議（往電第410号）

ハイチで開催された第5回カリブ諸国連合（ACS）首脳会議にディアスカネル国家評議会第一副議長が出席し演説を行った。演説においてディアスカネル第一副議長は、地域統合プロセスを加速化する必要性を主張し、ALBA、ペトロカリブ・エネルギー協定、CELACを例示しつつ、理想的な地域統合を実現した故チャベス・ベネズエラ前大統領の業績を賞賛した。また、キューバはACSの再活性化を完全に支持し、加盟国国民の共通の利益は、加盟国の一致した行動と協力によってのみ得られる旨述べた。

12 マドゥーロ大統領の当国公式訪問（往電第411号）

26日～28日、マドゥーロ大統領は当国を公式訪問し、ラウル議長と会談した他、第13回キューバ・ベネズエラ政府間委員会が開催され、中・長期二国間経済アジェンダ確定に向けた覚書を含む51の協力プロジェクトが署名された。

13 要人来訪

(1) クンブアンボラ・フィジー外相（3日～7日）（往電第341号）

公式訪問。ブルーノ・ロドリゲス外相、マルミエルカ外国貿易・外国投資大臣と会談。

(2) ブラッターFIFA会長（17日）

実務訪問。ラウル議長と会談し、FIFAの対キューバ協力プロジェクト等につき意見交換。

(3) Pham Vu Luan ベトナム教育大臣（17日）（往電第386号）

実務訪問。大学間交流に係る協定に署名。

(4) ガスパー・ベガ・ベリーズ副首相（18日）

実務訪問。マチャド国家評議会副議長と会談し、とりわけ保健分野における協力の強化につき意見交換。

(5) Guerasimov 露国防大臣代理（18日～21日）（往電第400号）

公式訪問。フリヤス革命軍事大臣と会談。

(6) Al-Assaf サウジ財務大臣・サウジ開発基金総裁（21日～24日）（往電第405号）

実務訪問。キューバの水道網修復を支援するためサウジ開発基金よりキューバに資金供与に合意する協定が署名された。

(7) マドゥーロ・ベネズエラ大統領（26日～28日）（往電第411号）

公式訪問。ラウル議長と会談したほか、第13回キューバ・ベネズエラ政府間委員会に出席。

(8) Ivan Melnikov 露下院第一副議長（28日～30日）

ラソ人民権力全国議会議長と会談。

(9) Rui Falcao ブラジル労働者党総裁一行（29日）

マチャド共産党中央委員会第二書記（国家評議会副議長）と会談。

14 要人往訪

(1) ムリージョ閣僚評議会副議長のブラジル訪問（4日～10日）（往電第377号）

パトリオッタ伯外相と会談し、貿易、投資、協力等二国間・多国間事項につき意見交換した。

(2) ベラスケス教育大臣のベルギー訪問（9日）

第3回アフリカ・カリブ・太平洋諸国グループ教育大臣会合に出席。

(3) ラウル・カストロ議長のベネズエラ訪問（19日～21日）（往電第393号）

マドゥーロ・ベネズエラ大統領就任式に出席。

(4) ディアスカネル国家評議会第一副議長のハイチ訪問（25日～27日）（往電第410号）

第5回カリブ諸国連合首脳会議に出席。ロヘリオ・シエラ外務次官が同行。